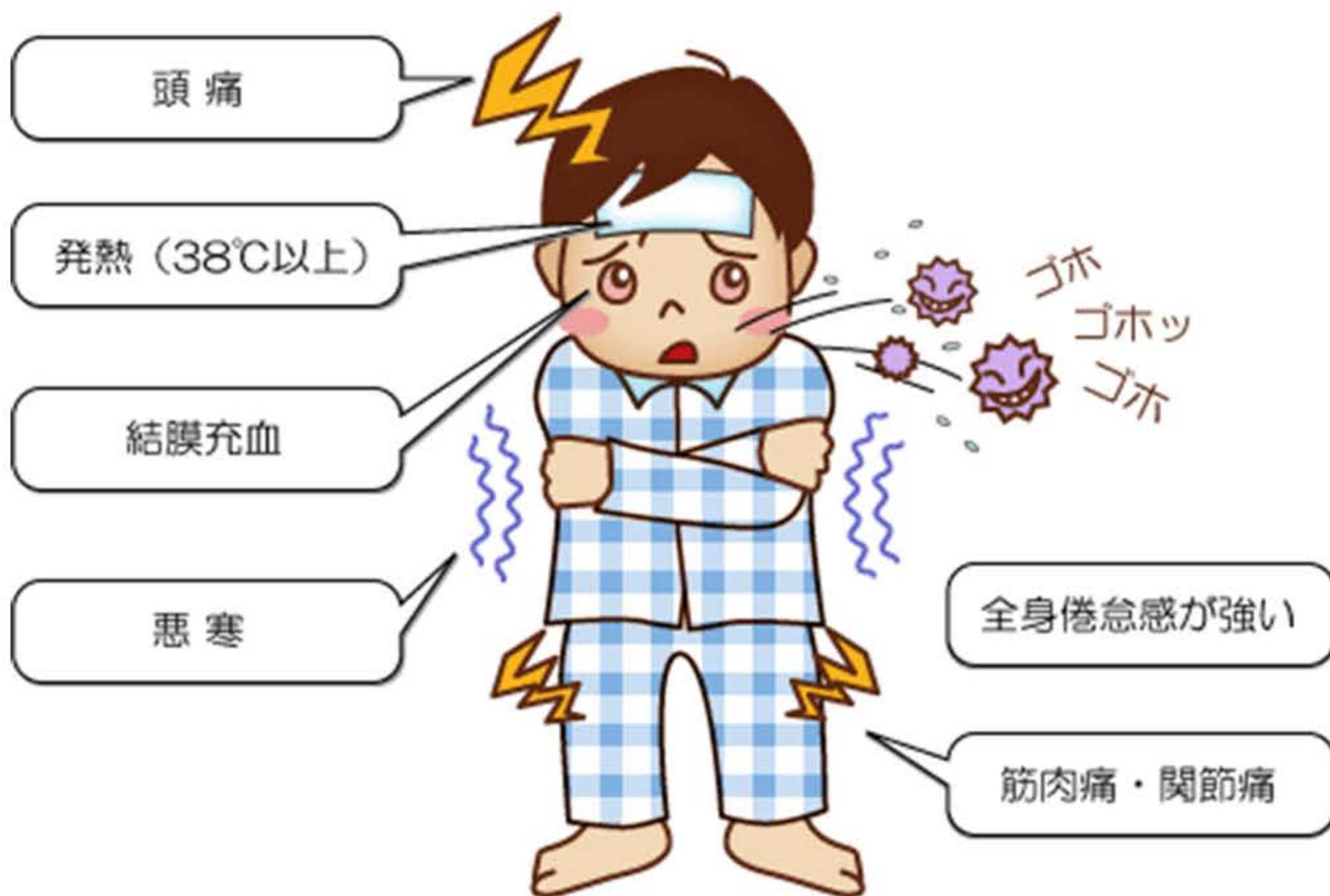




インフルエンザの基礎知識と感染予防

感染対策委員 西1病棟

加藤 志野



気温も下がり秋も深まってきましたが、今年も各地でインフルエンザが出始めています。毎年11月に入るとインフルエンザが流行しますが、昨年のインフルエンザの傾向では、10月には既にインフルエンザに感染したという例が多くみられています。そこで、インフルエンザに感染しない為にも、基礎知識と予防対策について紹介しようと思います。

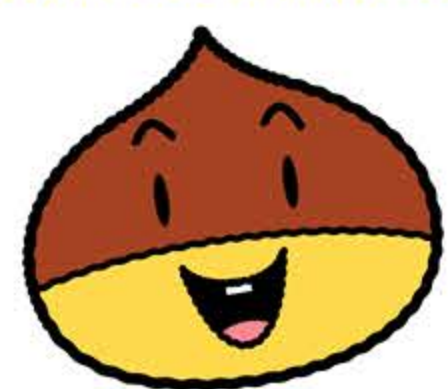
まず、インフルエンザの特徴・症状として、通常の風邪とは原因となるウイルスの種類が違います。通常

の風邪では、喉や鼻に症状が現れやすいのに対し、インフルエンザは、38~40℃の高熱、関節痛、筋肉痛などが強く現れます。また、インフルエンザは気管支炎や肺炎などを併発しやすいこともあり、重症化すると、脳炎や心不全を起こすこともあります。特に体力の無い高齢者や乳幼児は、命に関わる可能性もある為、十分注意する必要があります。その為、まずは予防が大切です。

対策・予防法は、①正しい手洗いと含漱…こまめに行うことが大切です。特に外出後等、必ず行うことです。②栄養・休養を十分に取る…体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。③室内の温度・湿度に注意する…ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥していると、ウイルスが長時間空気中に漂ってしまい、感染するリスクが高くなります。④マスクの着用⑤予防接種を受ける…もし感染しても、ワクチンを接種していることで、重症化を防ぐことができます。このような心がけを行い、予防していきましょう。

最近では、発熱があまり高くないタイプのインフルエンザも珍しくないと言われています。少しでも症状がみられたり、区別がつきにくいと思ったら、必ず早めに受診するようにしましょう。

最後に面会についてですが、インフルエンザに限らず、風邪症状のあるご家族の方々は面会を制限させていただきます。また患者様に症状がある場合も同様です。ご理解、ご協力をお願い致します。



お知らせ

10月11日(土)、当院では、第21回文化祭を開催しました。今年もたくさんの方にお集まりいただき、ありがとうございました。台風の影響を受けることもなく、患者様やその家族の皆様、また地域の方々に楽しんでいただけたことに職員一同ほっとしております。

さて、例年ご報告しております模擬店の売り上げでございますが、今年は、日田市役所に「災害復興資金」として全額の130,400円を寄付いたしましたことを取り急ぎお知らせいたします。文化祭の詳細については次号にて掲載いたします。

摂食・嚥下障害と薬剤

薬剤師 権藤節子

「見える事例検討会」に参加していますが、病院・施設はもとより、居宅介護の場合は、摂食・嚥下障害による家族の食事・服薬介助負担が大きく、苦勞されているようで、服薬支援の必要性を痛感しています。

正常な摂食・嚥下とは、食物を認識し（認知期）、食物咀嚼して食塊形成し（準備期）、食塊を口腔から咽頭に送り込み（口腔期）、嚥下反射が惹起され（咽頭期）、食道を通過し（食道期）胃に到達する一連の流れです。薬剤に関係した事項を挙げてみます。

薬剤性摂食嚥下障害

D2受容体遮断薬（抗精神薬・胃腸機能改善薬）

ドパミン低下→サブスタンスP低下→嚥下・咳嗽反射の低下

抗ヒスタミン薬・利尿剤・三環系抗うつ剤

唾液部分分泌減少→咀嚼能力低下

摂食嚥下障害に不相当とされる薬効群

抗コリン薬 第一世代抗ヒスタミン薬（ポララミンなど）抗パーキンソン薬
鎮痙薬（ブスコパン）

循環器用薬 α 遮断薬・中枢性 α 作動薬・抗不整脈Naチャンネル遮断薬

中枢神経用薬 三環系抗鬱剤（トリプタノールなど）抗精神用薬・BZ系薬
非BZ系薬（眠剤・抗不安薬・抗てんかん薬など）

胃腸薬 D2遮断薬（プリンペラン・ナウゼリン・ガナトン・スルピリドなど）
骨格筋・平滑筋の機能障害 テオフィリン・Ca拮抗剤・アルコールなど

誤嚥性肺炎予防に有効な薬剤

ACE阻害剤（イミダプリル・タツジピンなど）・シロスタゾール（ドパミン・サブスタンスP産生維持）・トウガラシ（サブスタンスP遊離）・葉酸（ドパミン合成関与） 半夏厚朴湯など



作業療法だより



今年も9月恒例の高塚参拝の時期がやってきました。高塚へ到着するバスの中で「久しぶりにいく」「高塚さんに行くつかい？」とうれしそうにされる方もいました。到着すると、まず最初に本殿へ！鈴を鳴らして丁寧にお参りをされていました。次にみずかけ地蔵・一念洞・おかかえ地蔵へ行き、一人一人お地蔵さんをかかえて「こりゃ重ていね」との声も聞かれました。その後も患の玉を撫でたり、高塚の冷水を飲んだり、おやつを食べたり久しぶりの小旅行を楽しく過ごせました。普段病院で過ごし、外出する機会が少ないのでこういった行事を行なう中で季節を感じ、時間をゆっくり過ごして、ともに楽しんでくれる仲間がいるような雰囲気を作れたことが私もうれしく感じました。

次回はきっと文化祭の様子をお伝えすることになると思います。患者さん・ご家族・職員が一緒になって楽しめるお祭りになればいいなあと思います。



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう
居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス

<http://www.uenokoen-hospital.jp/>

E-mail

uenokoen-hp@giga.ocn.ne.jp